



賞金王決定戦の熱気さめやらぬ

ボートレースの聖地

1/28(火)29(水)30(木)31(金)2/1(土)2(日)

BOAT RACE 住之江

住之江で相まみえる12人のスターレーサー！

千成賞

1月28日(初日)第12レース

ダブルドリム戦 出場予定選手

関白賞

1月29日(2日目)第12レース

1号艇

3415 松井 繁

A1・大阪・44歳

賞金王へのアプローチがどう変わろうと目標設定に狂いなし。“絶対王者”が始動する。

2号艇

3783 瓜生 正義

A1・東京・37歳

9年連続賞金王出場という事実が全てを語る。記念の大舞台は常に瓜生をめぐる戦いだ。

3号艇

4044 湯川 浩司

A1・大阪・34歳

一昨年55回大会の覇者。昨年は当地G I 高松宮記念制覇で賞金王への切符を引き寄せた。

4号艇

3854 吉川 元浩

A1・兵庫・41歳

昨年はダービーでドリーム出場とハイレベルな安定感を示す。今年は爆発力つけて勝負。

5号艇

4028 田村 隆信

A1・徳島・35歳

賞金王トライアル3日目、勝負駆けの強ツケマイに痺れたファンは多いはず。魅せる男。

6号艇

3978 齊藤 仁

A1・福岡・36歳

昨年は最後の席を懸けた勝負に競り勝ち賞金王戦士に。東京支部随一の充実ぶりを誇る。

松長 彰の極私的千成賞レース分析 絶対的に強いインで松井が決める！

年末の賞金王を持ちだすまでもなく、住之江のインの強さは絶対的だ。しかも初日となれば、大方の選手がモーターとプロペラの感触を確かめることに専念する。ただ、問題はそのモーターにある。1号艇の松井はともかく、2号艇の瓜生の気配は要チェックだ。なにしろ賞金王では3日目、4日目と連続2コースで惨敗しているのだ。2日目も3コースから6着だった。前検後の瓜生自身のコメントに注目だ。

湯川にしても3コースは「良い位置」とはいえない。松井を攻める1番手には、やはり吉川を挙げたい。田村もここでは組み合わせ的にも、ヘタに動くより吉川マークでその攻めに乗る作戦が吉と読むわ。齊藤はさすがに遠い。

千成賞 1月28日(初日)第12レース											
枠番	競馬	選手名	枠番別全国成績(最近6ヵ月)				対戦成績(最近2年)				
			出走回数	1着率	2着率	3着率	松井	瓜生	湯川	吉川	田村
1号艇	3415	松井 繁	24回	70.8%	83.3%	87.5%	—	①-②	③-④	⑤-⑥	⑦-⑧
2号艇	3783	瓜生 正義	18回	38.8%	72.2%	72.2%	②-①	—	③-⑦	③-④	①-⑩
3号艇	4044	湯川 浩司	18回	11.1%	33.3%	61.1%	③-②	⑦-②	—	③-③	⑩-①
4号艇	3854	吉川 元浩	17回	5.8%	23.5%	52.9%	①-⑩	④-③	③-⑥	—	④-③
5号艇	4028	田村 隆信	14回	21.4%	28.5%	57.1%	⑦-⑩	①-⑩	①-⑩	—	③-⑩
6号艇	3978	齊藤 仁	19回	5.2%	15.7%	36.8%	③-⑩	③-⑩	③-④	⑩-③	—

「超」舟券術

本誌デスク 松長 彰の極私的GI太閤賞開設57周年記念総展望

住之江SG・GIに断然強い大阪支部

SGやGIの展望を書けといわれて、まず最初にやることは、過去のデータの洗い出しである。過去10年間で住之江ではSG・GI合わせて、延べ45人の優勝者が誕生している。そのうち、実に20人が地元大阪支

最大の見ものは、地元勢による新旧3対3のバトル。大阪支部の壁を崩すのは、今垣か？瓜生か？峰か？

部の選手だ。毎年2人ずつ勝っている計算になるが、GIだけに限定しても、この10年間で地元選手が優勝できなかった年は一度もない。つまり、10年連続で大阪支部の誰かが地元水面でGIを制しているのだ。

“誰かが”といったが、実はそのほとんどをわずか3人の選手でまかなっている。その3人とは言わずと知れた松井繁(大阪)、田中信一郎(大阪)、太田和美(奈良)の賞金王決定戦で優勝実績を持つ選手である。事実、2011年までは8年連続で3人のうちの誰かが、毎年必ず地元でSGがGIを制している。



最近3年の優勝者は丸岡、湯川、石野

ところが、である。太閤賞は現在、地元勢3連覇中なのだが、その優勝者が新しい順に丸岡正典(奈良)、湯川浩司(大阪)、石野貴之(大阪)のフレッシュトリオである。いずれもSG覇者である実力者たちに「フレッシュ」はなにかと思われのかもしれないが、つい数年前までは地元の記念でさえも出る幕がなかった3人である。3人で周年3連覇と聞けば、てっきり松井、田中、太田かと思ったファンは少なくないだろう。今年の太閤賞最大の見ものは、



この地元勢による“新旧3対3”のバトルだ。このなかで唯一、太閤賞タイトルに手していないのが太田である。春と秋の違いだけで他の条件はまるで同じといえる高松宮記念は4回も優勝しているのだ。しかし一方で、3年前からの地元3連覇が実は世代交代のターニングポイントだったと、いずれ我々は語ることになるのかも…。

G I 太閤賞 ポートレース住之江・開設記念競走 最近10大会の優勝者					
回	開催年	優勝者	現住所	回	開催年
第47回	2004年	田中信一郎	(大阪)	第53回	2010年
第48回	2005年	新美 進司	(愛知)	第54回	2011年
第49回	2006年	井口 佳典	(三重)	第55回	2012年
第50回	2007年	松井 繁	(大阪)	第56回	2013年
第51回	2008年	吉川 元浩	(兵庫)	第57回大会	2014年2月2日
第52回	2009年	松井 繁	(大阪)		

存在感ある田村、山口、勢いある山田

遠征勢も太閤賞はこの10年間で4人の優勝者を出しているが、三重2人に兵庫、愛知と比較的身近な支部で占められている。その線での注目は今垣光太郎(石川)だ。というか、今垣がこの10年、住之江の記念を勝っていない事実

Next New

明日のボートレース界を担う若手レーサーが対決！

ヤングダービーマッチ 1月28日(初日)第5レース 出場予定選手					
4320	4397	4460	4446	4500	4504
峰 竜太	西村 拓也	後藤 翔之	和田 兼輔	山田 康二	前田 将太
A1・佐賀・28歳	A1・大阪・27歳	A1・東京・27歳	A1・兵庫・27歳	A1・福岡・26歳	A1・福岡・25歳

●枠番は前検日に決定

開設57周年記念
太閤賞競走

ボートレースの聖地 **住之江** だから燃える！

出場全52選手

プロフィールリスト

【所属支部地区別・登録番号順】

●病気などにより出場メンバーが変更になる場合があります。

関東地区

3251 平石 和男 A1・埼玉・47歳
MB記念で優出2着、当地でも好歴を残すベテランがコーナー戦で巧腕を発揮。

3505 山田 竜一 A1・東京・42歳
昨年12月の当地戦はワースト機で優出。内寄りを確保すれば速攻戦で結果を出す。

3679 飯島 昌弘 A1・茨城・40歳
速攻派で鳴らしてきたが、最近の1着獲りはインに集中。中枠では差し回りに。

3978 齊藤 仁 A1・福岡・36歳
総理杯とCで優出し、初の賞金王決定戦出場を果たした。自在巧腕が冴える。

4266 長田 頼宗 A1・東京・28歳
賞金王シリーズ戦で準優勝。俊敏な立ち回りで、安定した強さをキープする。

4297 山田 哲也 A1・千葉・31歳
驚異のスタート力を発揮して1着獲り。接戦では脆さも、突き抜ければ圧勝劇。

4460 後藤 翔之 A1・東京・27歳
F3本にB2級落ちと苦難を乗り越え、ようやくA1級に復帰。果敢に攻める。

3743 林 美憲 A1・徳島・39歳
地元鳴門では他を寄せ付けない走り。遠征戦では行き足を仕上げて一気駆けだ。

3837 秋山 広一 A1・香川・38歳
徳山周年で準優勝進出したが、モーター出しに苦しんだ。スタートは決めてくる。

四国地区

4028 田村 隆信 A1・徳島・35歳
減量に取り組み、4回目の賞金王決定戦出場を果たした。豪快ターンが復活だ。

4459 片岡 雅裕 A1・香川・27歳
蒲郡周年で優出と実力をつけてきた。外枠になってもた。豪快ターンが復活だ。

選手データの見方



短評

登録番号
選手名

級別・現住所・年齢(前検日現在)

東海地区

3931 黒崎 竜也 A1・三重・37歳
調子を上げてきた矢先にFをする。今期もF持ただが伸びを強烈に仕上げる。

3946 赤岩 善生 A1・愛知・37歳
分解整備はいつものこと。飽くなきパワーアップへの挑戦で、必ず結果を出す。

4043 桐本 康臣 A1・三重・34歳
カドからの捲りが増してきた。攻撃力がアップした近況の勢いで。

4074 柳沢 一 A1・愛知・32歳
トップスタートを連発する近況戦。1着獲りのレースが好印象で大仕事の予感。

4337 平本 真之 A1・愛知・29歳
負傷欠場明け2戦目の常滑ではインから優勢。的確なコーナーさばきで上位へ。

中国地区

3719 辻 栄蔵 A1・広島・38歳
F休み明け2戦目。コースを問わず大技、小技を繰り出して追い上げる。

3874 山本 寛久 A1・岡山・37歳
年末に4連続優出と一般戦では圧倒的。G1でもスピードの乗った攻めが光る。

3942 寺田 祥 A1・山口・35歳
11月以降に妨害3回とリズムが悪い。モーターが出ない分、コーナー戦に活路。

3961 谷村 一哉 A1・山口・35歳
宮島周年で優出するなど存在感のある走り。鋭い捲りに差して高配当に貢献する。

4166 吉田 拓郎 A1・岡山・31歳
スタートには迷いがなくても、モーター出しに迷い。克服できれば速攻力全開。

4172 森定 晃史 A1・岡山・31歳
コーナー戦に持ち込み、粘り強さを発揮する。大崩れのない安定した着順傾向。

4205 山口 剛 A1・広島・31歳
「剛」のイメージが強いが最近では差しも使う。賞金王シリーズ戦優勝と当地好相性。

4237 大峯 豊 A1・山口・30歳
スタートが決まるようになってきた。基本はコーナー勝負タイプで2着が多い。

4292 麻生 慎介 A1・広島・28歳
G1で走る機会が増えてきた。まだ予選突破が壁になっているが、一発に期待。

近畿地区

3388 今垣 光太郎 A1・石川・44歳
カドから強気に捲るレースが増えてきた。完全復活へ、勝利への執念燃やす。

3415 松井 繁 A1・大阪・44歳
今年も「賞金王決定戦の舞台に立つ」と常に年末を見据えて長期戦略で戦う。

3557 太田 和美 A1・奈良・41歳
昨年はグラチャン連覇、賞金王決定戦出場。完成度の高いターンで充実の走り。

3606 川北 浩貴 A1・京都・42歳
11月徳山、三國で連続優勝した。スタートに磨きがかかり、捲り勝ちが急増中。

3635 石田 政吾 A1・石川・43歳
12月桐生では中盤から6連勝で優勝した。相手と展開に応じて柔軟に立ち回る。

4044 湯川 浩司 A1・大阪・34歳
事故率を抱えて臨んだ賞金王決定戦では実力発揮できず。今回は快速パワーで。

4099 吉永 則雄 A1・大阪・35歳
現役最速の1000勝達成が光っている。イン、カドを取れば攻撃力がアップする。

4168 石野 貴之 A1・大阪・31歳
スピードを前面に押し立てて攻める姿勢を崩さない。インとカドで1着獲り。

九州地区

3777 樋口 亮 A1・長崎・38歳
父親は最多優勝に輝いた樋口保宏氏。コーナー勝負で持ち味を生かすタイプだ。

3783 瓜生 正義 A1・東京・37歳
モーター出しもターンのレベルも“超”一流。安定した強さで信頼度は高い。

4256 渡辺 浩司 A1・福岡・30歳
ダービーでSG初出場したが、水神祭はお預け。スタート勝負の少ない堅実派。

4320 峰 竜太 A1・佐賀・28歳
艇界屈指のパワーとスピードで新勢力を代表する。当地は12年高松宮で優勝歴。

4330 奈須 啓太 A1・福岡・30歳
スタートの思い切りが良くインでは1着獲りに徹する。中枠から差し構えだ。

4352 下條雄太郎 A1・長崎・27歳
G1・G2で予選突破するシーンが増えてきた。外枠からでも捲り差しで浮上。

4500 山田 康二 A1・福岡・26歳
3場所連続優勝をするなど勢いに乗っている。捲り差しの追い上げも強烈。

4504 前田 将太 A1・福岡・25歳
あと一步のところでG1優勝を逃がしている。自在速攻の切れ味は一流の域。

3548 室田 泰史 A1・福井・43歳
平均STはコンマ12と早い。インからスタートで先手を取れば1着軸になる。

3555 野添 貴裕 A1・大阪・41歳
内寄りに行けば行くほどスタートが早くなる。強気の攻めで1着獲りに徹する。

3556 田中信一郎 A1・大阪・41歳
豪腕で鳴らす実力者だけにモーターパワーの裏付けがあれば確実に上位進出する。

3780 魚谷 智之 A1・兵庫・38歳
高松宮は機敏な立ち回りで優出3着。や攻め急ぐ傾向にあるのが減点材料か。

3854 吉川 元浩 A1・兵庫・41歳
ダービーでドリーム戦選出と、年間を通じて安定した強さ。捲り差しに切れ味。

4042 丸岡 正典 A1・奈良・34歳
前回大会はインからきっちり逃げ優勝。モーターが出ていれば軽快に立ち回る。

4218 吉川 喜継 A1・滋賀・32歳
当地前走では5コースから濱野谷憲吾を破って優勝。G1では2着が多い。

4295 小坂 尚哉 A1・兵庫・27歳
昨年はG1を5回走って、全て予選落ちしたが、高配当に貢献してアピールした。

4311 岡村 仁 A1・大阪・29歳
「30歳になるまでに大仕事を」と江戸川周年でG1初優勝。捲り差しに切れ味。

4397 西村 拓也 A1・大阪・27歳
賞金王シリーズ戦で初のSG準優勝。トップ級と互角に戦えることを証明した。

4446 和田 兼輔 A1・兵庫・27歳
G1に呼ばれるようになりレースにも安定感が出てきた。インなら逃げ信頼だ。

好調選手がわかる！ 住之江巧者がわかる！

出場予定選手 全国最近6ヵ月 & 住之江最近3年 成績 (選手登録番号順)

全国6ヵ月：2013年7月1日～12月23日

住之江3年：2011年1月1日～2013年12月23日

□はそれぞれの項目のベスト10

登録 番号	選手名	全国 6ヵ月			住之江 3年		
		勝率	3連率	平均ST	勝率	3連率	平均ST
3251	平石 和男	6.75	59.0%	0.18	6.02	41.9%	0.20
3388	今垣光太郎	7.66	77.1%	0.16	6.96	62.5%	0.18
3415	松井 繁	7.72	62.9%	0.16	8.20	79.6%	0.17
3505	山田 竜一	7.07	76.1%	0.15	6.20	68.3%	0.15
3548	室田 泰史	7.23	77.3%	0.12	7.89	77.8%	0.13
3555	野添 貴裕	7.00	72.8%	0.14	7.11	72.6%	0.15
3556	田中信一郎	7.23	63.5%	0.18	8.02	81.6%	0.17
3557	太田 和美	7.00	59.2%	0.15	7.56	73.1%	0.15
3606	川北 浩貴	6.89	66.1%	0.15	7.56	75.6%	0.16
3635	石田 政吾	7.31	74.2%	0.15	7.44	74.4%	0.19
3679	飯島 昌弘	6.65	62.5%	0.16	6.14	64.3%	0.18

登録 番号	選手名	全国 6ヵ月			住之江 3年		
		勝率	3連率	平均ST	勝率	3連率	平均ST
3719	辻 栄蔵	7.08	62.9%	0.17	7.40	68.9%	0.17
3743	林 美憲	6.89	65.5%	0.15	6.05	42.1%	0.16
3777	樋口 亮	6.16	56.3%	0.18	6.75	65.0%	0.17
3780	魚谷 智之	7.21	64.8%	0.17	7.67	71.9%	0.17
3783	瓜生 正義	8.77	77.4%	0.14	7.50	50.0%	0.15
3837	秋山 広一	6.36	63.9%	0.16	5.92	50.0%	0.17
3854	吉川 元浩	7.79	69.6%	0.14	7.63	68.8%	0.15
3874	山本 寛久	7.01	69.8%	0.15	7.22	81.3%	0.16
3931	黒崎 竜也	6.69	69.1%	0.15	4.13	50.0%	0.24
3942	寺田 祥	6.54	59.7%	0.16	6.93	56.8%	0.15
3946	赤岩 善生	7.09	63.5%	0.17	7.10	51.2%	0.16

登録 番号	選手名	全国 6ヵ月			住之江 3年		
		勝率	3連率	平均ST	勝率	3連率	平均ST
3961	谷村 一哉	7.10	71.7%	0.16	6.31	51.4%	0.14
3978	齊藤 仁	7.06	63.5%	0.16	6.30	52.0%	0.17
4028	田村 隆信	7.58	65.7%	0.15	7.27	63.3%	0.15
4042	丸岡 正典	6.69	54.0%	0.16	7.23	71.8%	0.17
4043	桐本 康臣	6.69	65.5%	0.17	6.48	60.6%	0.19
4044	湯川 浩司	7.69	69.2%	0.16	7.81	77.3%	0.15
4074	柳沢 一	6.52	60.6%	0.13	5.97	50.0%	0.15
4099	吉永 則雄	6.72	69.0%	0.17	7.21	73.9%	0.15
4166	吉田 拓郎	6.37	52.7%	0.14	7.12	60.8%	0.15
4168	石野 貴之	7.41	74.1%	0.16	7.47	74.8%	0.18
4172	森定 晃史	6.54	69.4%	0.15	6.20	59.3%	0.15

登録番号	選手名	全国 6ヵ月			住之江 3年		
		勝率	3連率	平均ST	勝率	3連率	平均ST
4205	山口 剛	8.93	84.0%	0.16	7.22	62.3%	0.14
4218	吉川 喜継	6.35	67.2%	0.15	6.14	51.4%	0.14
4237	大峯 豊	7.09	70.2%	0.15	5.33	47.2%	0.22
4256	渡辺 浩司	6.68	62.9%	0.16	7.59	84.4%	0.15
4266	長田 頼宗	6.64	63.5%	0.16	7.05	70.3%	0.16
4292	麻生 慎介	6.12	60.5%	0.16	4.22	33.3%	0.23
4295	小坂 尚哉	6.73	71.2%	0.18	6.58	62.5%	0.18
4297	山田 哲也	6.41	59.8%	0.12	6.78	52.8%	0.10
4311	岡村 仁	6.83	66.9%	0.14	6.51	66.4%	0.15
4320	峰 竜太	7.82	73.4%	0.15	7.14	54.0%	0.13
4330	奈須 啓太	6.59	65.0%	0.14	5.82	72.7%	0.16

登録 番号	選手名	全国 6ヵ月			住之江 3年		
		勝率	3連率	平均ST	勝率	3連率	平均ST
4337	平本 真之	7.12	70.7%	0.17	6.62	52.9%	0.15
4352	下條雄太郎	7.29	72.6%	0.14	7.54	77.1%	0.16
4397	西村 拓也	7.34	69.5%	0.16	6.83	70.6%	0.17
4446	和田 兼輔	6.67	65.2%	0.14	6.30	67.4%	0.16
4459	片岡 雅裕	6.57	63.7%	0.15	7.71	85.7%	0.16
4460	後藤 翔之	6.88	69.6%	0.16	5.55	45.2%	0.16
4500	山田 康二	7.63	79.7%	0.16	7.16	70.3%	0.15
4504	前田 将太	6.46	54.8%	0.15	5.63	50.0%	0.20





今大会はデイレース&冬。ナイターレー

1/28(火)29(水)30(木)31(金)2/1(土)2(日)

BOAT RACE 住之江

スのイメージを切り換えて舟券推理だ!

住之江の地元スポーツ紙記者が斬る コース&モーター&レース傾向

柳川 哲也 ●「スポーツニッポン」

コース

選手が何よりも乗りやすさを追求する水面

淡水で水質が硬い住之江水面。海水のレース場と比べてもかなり乗りづらくなっている。選手もモーターパワーうんぬんよりも、まずは乗りやすくすることを最優先させる。本番ビットから2マークまでは120m。異常回転が入ればビット離れで突き抜けてインを取り切ることも可能だ。

ナイター期間は比較的静水面が多く、特に昼間の時間帯は捲りも良く決まっているが冬場は北西の風、つまり追い風中心になることが多い。現モーターは行き足性能が優秀。冷え込んで回転が上がるぶん、ナイター戦以上にインの強さはいっそう目立つ。とはいえ、1周2マークは見た目以上に返し波が残っているだけに逆転のシーンもちらほら…。いずれにせよスリットが揃うG I レースだ。昨年の賞金王決定戦同様、インの強さに変わりはない。

モーター

賞金王優勝者・池田が引き当てた「3」断然

昨年の3月から使用されているモーター



池田を2回目の賞金王決定戦覇者に導いたモーターが3号機

賞金王決定戦&シリーズ戦よりさらに「イン」が強力に。 波乱の要因となるのは、2Mの返し波と調整の難しさ!

相場は既にはっきりしている。誰もが認める圧倒的エース機が「3」。まだ記憶に新しい賞金王決定戦は池田浩二が引き当て、ぶっちぎり優勝。現状はコレが抜けた存在だ。

「3」以外は各選手の微妙な調整で気配が変わってくるのが住之江モーターの特徴。前半戦で調整を合わせ切れず惨敗している、後半戦は見違えるレースで1着…、というケースも少なくない。今回は昨年の賞金王決定戦時と同じような気象条件とあって、上がりタイムにも期待できそう。

レース傾向

デイレース&冬となれば「イン絶対」が基本

春先から夏場が中心となるナイター戦は気温が高く行き足が多少鈍るぶん、ダッシュ戦にも出番がある。特に気温が高い昼間のレースは捲りもバンバン決まる。

これに対して、デイレースになると基本的には「イン絶対」の水面。ましてやチルトをハネて伸び仕様にする選手も少なくなり、アウトの選手をアタマで買うのはかなり無謀と言えるだろう。

池田浩二の2回目の優勝

で幕を閉じた昨年の賞金王決定戦も、シリーズを通してインの強さが目についた。賞金王から約1ヵ月チョイとあって気温差もそれほどないだけに、今回の太閤賞も例外にはならないだろう。ちなみに、4コ



淡水で水質が硬い住之江水面は、モーターパワーよりも「乗りやすさ」優先

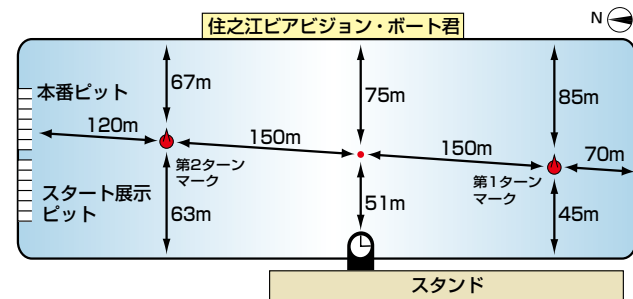
ス、あるいは5コースから「カド」を取った選手が一気に捲って行く展開も賞金王シリーズ戦ではほとんどなかった。つまり、どう頭をひねってもイン主体のレースが大半を占めることになる。

賞金王決定戦&シリーズ戦を走った選手は調整面でも有利な立場。逆に走っていなかった選手は思い描いたような乗り心地に仕上がるまで時間がかかる恐れも。その点も注意しておきたい。

3連単

好配当なら⑤の差し、高配当なら⑧アタマ

まずは2013年の賞金王決定戦&シリーズ戦を振り返ってみよう。初日こそ追い風が



少々強く、外枠にイン志向の選手が多かったこともあって1号艇の勝利が4本と少なめだった。しかし、2日目9本、3日目8本、4日目10本、5日目8本、最終日9本と1号艇強しの結果となっている。スリットに凹凸のないSG・GI、加えて冬場はインがめっぽう強い住之江とくれば、1号艇を軸にして組み立てるのが大前提となる。

ただし、記念レースの①-②-③、①-③-②は選手相場、モーター相場を問わず常に安値になることが多い。まあ機力さえ伴っていれば本命党は素直に勝負しても良いが、意外と好配当を提供してくれそうなのが5号艇。3コースあるいは4コースの選手が攻め手になるぶん、自然と差し場が生まれる。もちろん6コースも同条件だが、おおかた先に差しているのは5コースの選手。実際、昨年の賞金王決定戦も2連単で①-②、①-③に次いで多かったのが①-⑤だった。回り足さえしっかりしていれば確実に差し込んでくるだけに①-⑤一流し、①一流し-⑤は配当的にも妙味がある。

もっと穴を狙いたいファンには、3号艇のアタマがオススメ。団体スリット時は落として回る2コース差しよりも、3コースから角度をつけた捲り差し、あるいはツケマイの方が勝率は高い。高配当を狙うならズバリ③アタマだ。

ヒムケン

松村 賢一 ●ボートレースライター

JLRCコメンテーター

が読む

G I 太閤賞の3連単



賞金王決定戦&賞金王シリーズ戦組の選手が1号艇になったら、無理な買い方をせず、無条件で1着軸信頼の舟券!

1号艇からの20点流しの妙

賞金王決定戦は池田浩二がイン攻めを決めて優勝した。2着に2コースの中島孝平、3着に3コースの新田雄史が入り、賞金王決定戦史上初の①-②-③決着で終わった。ゴールに全艇枠番どおりに入ったのも初めてである。初日こそ女子選手の活躍で2コース捲りも決まっていたが、2日目からは1号艇でインに入る選手が主導権を握っていた。賞金王決定戦&賞金王シリーズ戦の全72レース中、1号艇が1着になったレースは48回、1号艇の1着率は66.6%にもなった。

もっとも、1号艇でインを取った選手が1着になっても2着、3着に人気薄を連れてくるので、3連単で万舟になるレースもあった。「1号艇から20点流しをやって大儲けをしたファンがいる」という噂も出たほどだった。しかし、実際は大儲けしたというのはあくまでも噂で、計算してみると、マイナスにはならなかっただけである。

初日から全72レース、1号艇から3連単で100円ずつ20点買いした場合、舟券購入に必要な金額は14万4000円。1号艇が1着になったときの3連単の払戻金合計は14万6350円だった。トライアルが始まる3日目から参加した場合は、舟券購入金額9万6000円に対して払戻金合計は11万2780円とプラス収支だった。

舟券を絞らないことが得策

今回の太閤賞に出場する選手で、賞金王決定戦&賞金王シリーズ戦に出場した選手は19名。1号艇の強さを肌で知っている選手と言える。

1号艇のインが勝ち続けているときに、次のレースの1号艇選手は、かなりプレッシャーを感じると聞いたことがある。「インで負ければ、自分の実力のなさ

を証明するようなもの」という心理になる。「絶対に負けられない」とスタートを張り込んで、先攻めに徹する。だから、ますますインが強くなるという好循環が起きる。

賞金王決定戦に出場した松井繁、太田和美、湯川浩司、瓜生正義、田村隆信、齋藤仁をはじめ、賞金王シリーズ戦で走った選手が1号艇のレースでは、無条件で1着軸信頼の舟券を買うことだ。20点買いという、思考を放棄した買い方も良いかもしれない。たとえ特定の組番に人気が集まっていなくても、舟券を絞ることは得策ではない。これは賞金王決定戦で学習したことである。

逆に言うならば、賞金王決定戦&賞金王シリーズ戦組ではない選手が1号艇になったときこそ、1号艇が勝つ展開、負ける展開を考えて、大穴も見込んだ舟券を買うことにする。月並みなことだが、レースを選ぶことも舟券作戦では大切なことである。

平均払戻金 7,439円

BOAT RACE 住之江 the DATA

最近6ヵ月 進入コース別成績

(2013年7月1日～12月23日/1,104レース)

進入コース	勝率	1着率	2着率	3着率	平均ST	決まり手別1着回数	逃げ	捲り	差し	抜き	重め
1コース	7.88	50.7%	19.4%	9.0%	0.18	519回	0回	0回	0回	41回	0回
2コース	5.97	16.9%	26.2%	16.5%	0.18	0回	46回	0回	115回	26回	0回
3コース	5.45	12.4%	19.8%	21.2%	0.18	0回	66回	43回	18回	8回	2回
4コース	5.22	11.4%	15.9%	22.1%	0.17	0回	60回	33回	19回	13回	1回
5コース	4.40	6.7%	11.7%	18.9%	0.17	0回	17回	43回	7回	6回	1回
6コース	3.32	1.8%	7.0%	12.4%	0.18	0回	5回	9回	5回	0回	1回

モーター2連率ベスト20

順位	モーター番号	2連率	勝率	ワンポイント・チェック
①	80	52.7%	6.51	2連率トップも近況は下降気味で…
②	71	50.0%	6.29	年間を通してずっと安定した動きだ
③	35	49.6%	6.30	スリットからグイッと出て行くぞ!
④	3	48.1%	6.44	賞金王優勝。言わずと知れたエース
⑤	21	47.4%	6.35	松井繁が賞金王で蘇らせた元エース
⑥	12	45.2%	5.96	出足、伸びのバランス取れた秀逸機
⑦	57	43.4%	5.95	女子選手で2度優勝。乗り手選ばず
⑧	10	42.0%	5.82	調整さえバッチリ合わせば上位必至
⑨	52	41.5%	5.61	賞金王で齋藤仁が連日展示好タイム
⑩	79	41.1%	5.83	賞金王予備機。出足系がずっと良い

(2013年3月・使用開始～12月23日)

順位	モーター番号	2連率	勝率	ワンポイント・チェック
①	72	40.9%	5.29	高松宮記念で湯川浩司が優勝の良機
②	15	40.6%	5.65	底力があり賞金王で田村隆信も抜群
③	31	40.0%	5.66	賞金王予備機。出足、回り足が良好
④	20	39.6%	5.60	12月に向達成が優勝も総合力は微妙
⑤	28	39.1%	5.90	11月笠原亮が1着を並べて数字上昇
⑥	50	38.8%	5.67	温水パイプ装着後は全体的に向上
⑦	6	38.5%	5.41	シリーズ戦で吉川元浩がバランス型
⑧	67	38.2%	5.60	ベテランが乗って出足強化に成功
⑨	53	37.9%	5.39	スタートしてからの伸びはトップ級
⑩	75	37.3%	5.44	悪くはないが、上位に比べると劣勢

●住之江はチルト1.5度まで使用できます。

最近6ヵ月 3連単・コース組み合わせ&連番発生回数ランキング

(2013年7月1日～12月23日/1,104レース)

コース組み合わせ	発生回数	平均払戻金
①-②-③	79回	1,247円
②-③-④	68回	1,263円
③-④-⑤	49回	1,894円
④-⑤-⑥	47回	2,089円
⑤-⑥-⑦	45回	2,580円
⑥-⑦-⑧	36回	3,344円
⑦-⑧-⑨	34回	1,949円
⑧-⑨-⑩	30回	2,611円
⑨-⑩-⑪	27回	5,696円
⑩-⑪-⑫	27回	1,854円

連番(出目)	発生回数	平均払戻金
①-②-③	79回	1,244円
②-③-④	60回	1,331円
③-④-⑤	41回	2,286円
④-⑤-⑥	40回	2,393円
⑤-⑥-⑦	39回	1,861円
⑥-⑦-⑧	38回	2,658円
⑦-⑧-⑨	29回	2,408円
⑧-⑨-⑩	29回	1,971円
⑨-⑩-⑪	28回	3,245円
⑩-⑪-⑫	25回	9,065円
⑪-⑫-⑬	25回	3,499円

最近6ヵ月 3連単・払戻金分布

(2013年7月1日～12月23日/1,104レース)

